

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397100112
事業所名	グループホーム赤羽根の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 開設に先立ち、事前説明会をおこなうとともに近隣周辺への挨拶廻りで理解を求め、自治会長、区長、民生委員とも顔合わせができています。地域には既に同法人の介護老人保健施設が稼働、15年もの年月に渡って地域福祉に貢献してきており、当事業所の開設にあたってはそのネットワークや信頼を大いに享受でき、1年を経ているとは思えない充実した関係を地域と形成できています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は2ヶ月に1度の定期開催に取り組んでいます。開設までもないものの田原市社協高齢者支援センター（地域包括支援センター）をはじめとするメンバーを集めることができ、多様な意見を得ることが叶っています。8月のみコロナ対策で書面開催に切り替え、人が集まらない方法をとっていますが、管理者が活動報告を丁寧に作成しています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 田原市社協高齢者支援センター（地域包括支援センター）からは空室の問い合わせやボランティアの紹介等情報が随時入っています。また、運営推進会議開催にあたっては、「市役所、地域包括支援センター及び地域のグループホーム全てに案内を出す」との行政指示を遵守すべく手配を進めるほか、民生委員の見学会の受け入れた実績も既にあります。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） コロナ禍で出鼻をくじかれた感があり、家族とはじっくり話せてはいませんが、アンケートには感謝の気持ちが滲み、頼りにされていることが覗えます。「たいくつだなあ〜」とこぼす利用者には、毎月来所の移動図書館の本や職員手作りのゲームを提供して、気持ちを確かめています。また、コロナ禍であっても「会いたい」想いに応えていきたいとして、感染予防に配慮しつつ、玄関からユニット入口へのエントランスを活用して面会を実現させています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										

【備考欄】

--